



気軽に まじめに

市長の オフサイト訪問

VOL.19



水彩画サークル「あぜみちの会」

心の原風景や、一瞬の風景を絵の中に残すために描き続ける——水彩画での自己表現を絵筆に託す「あぜみちの会」の皆さんを笠原公民館に訪ねました。

代表 あぜみちの会は設立10周年を迎えましたが、こうやって続けることができたのは、それぞれの会員が、絵が上手になりたいと思う絶えることがない向上心を持続させることができたからだと思います。

市長 鴻巣市を市民の皆さんが誇りを持てる市にしたい。だからにはどのようなことをすべきか、皆さんと一緒に考え、力を合わせていきたいと考えています。私は、鴻巣・吹上・川里の各地域の一体性の確立、均衡ある発展を目指しながら市政運営を行っておりますが、JR高崎線の3つの駅の駅前整備を進め、それぞれの地域の皆さんに愛着のある、誇りを持てる市にしていきたいと考えています。皆さんには地域の垣根を取りはらい、それぞれの地域の特性を活かしながら、積極的にまちづくりに参加していただきたいと思っています。

講師 市はもう少し文化的なものに目を向けて欲しいです。教育委員会を中心にやっていたかないと、自分達だけでは限界があります。会員 箱物をつくるだけでなく、ソフト事業をもっと充実させてください。文化センターで市の絵画展や音楽会等を行うなど、積極的に文化活動を推進してください。

市長 行政としても文化振興のきっかけづくりをしていかなければならないのですが、皆さんそれぞれの考え方があり、ひとつにまとめることが難しいのが現状です。これから多くの皆さんを交えて、じっくり話し合う必要があると感じています。会員 市役所の敷地に屋外トイレを設置して欲しいです。庁舎前に集合し、旅行等に行くことが多いのですが、わざわざ庁舎の中のトイレを借りることに不便を感じています。市長 市で作るトイレは、簡易トイレというわけにはいかず、たとえば、今回、上谷総合公園に設置するものは、基礎がしっかりしているバリアフリーのトイレで、2千万円くらいかかります。トイレの利用状況や現在の財政状況を考えると設置は困難であり、庁舎内等のトイレを利用していたらどうでしょうか。会員 友人が市民課へ申告相談に行ったところ、申告受付日と受付場所を紹介され、直接その場では対応してもらえなかつたそうです。せめて目を通して確認等をして欲しいと思います。市長 詳細がわかりませんが、所得税に関する申告相談の場合は、市ではなく、税務署にして頂くようお願いしています。また、最近では電子申告が始まりましたので、ご利用いただければと思います。会員 職員が市の土木工事などの現場を確認することがあるのですが、必ず2人体制です。合併して仕事量も増えたことと思えますので、1人で対応したらいかがでしょうか。市長 工事検査や現場確認に際しては慎重な対応が必要ですから、2人でより正しい判断をす

ることが好ましいと考えます。しかし、軽易な内容については1人体制を考えなければならぬです。会員 コミュニティバスについてですが、白雲荘から各公民館等の公共施設をつなげた運行計画をして欲しいと思います。市長 福祉バスは週4日白雲荘へ行ってはいますが、現在のところ運行経路等の見直しは考えていません。しかし、鴻巣駅の東側では川里地域と鴻巣地域の循環バスフラワー号があり、また、西側方面についても、平成20年1月を目途にバスの新路線の開通を計画しています。会員 厳しい財政状況ですが、市長として市のビジョンを聞かせて欲しいです。市長 「行政は最大のサービス業である」という理念の下、職員の意識改革に取り組んでいきます。また、合併後の10年間で職員数を700人にまで減らし、人件費約97億円の歳出削減を計画しています。市民の皆さんに参加していただく会議や審議会を数多く設定し、市民の皆さんが主体となった市民の皆さんと共に進めるまちづくりを目指していますので、ぜひお力をお貸しください。会員 竹林公園に四阿あずまばができましたが、少人数しか座れません。もっと簡単に移動できる机や椅子の方が使いやすいです。公園維持管理ボランティアも当初は30人くらいでしたが現在は50人ほどになりました。竹がたくさんあるので、これを使って何かできないかと思えます。市長 自分達でやすらぎの空間を創り出したり、自主的なボランティア活動をしてくださる皆さんが増え、少しずつ市民パワ



ーが芽吹いてきていると実感しています。市としては、今後も可能な限りこのような活動を支援していきたいと考えています。会員 高齢者が元気に過ごせるよう、市としてどのように考えていますか。市長 職場をリタイアされても、生涯学習やボランティアという形で、社会にどんどん参加して頂きたいと考えています。新たに、(仮称)こうのとりの市民大学も開設しますので、さらなるいきがいづくりにつなげて欲しいと思います。会員 花と人形のまちこうのすを、もっとPRしたほうが良いのではないのでしょうか。市長 びっくりひな祭りはNHK等、多くのマスコミで報道されました。来場者数も2月23日現在で7万人を超え、はとバスツアーも訪れています。しかし、まだPR不足だと感じています。今年度は市職員が豊島区役所、北区役所、大宮駅コンコースでパンフレットを配布したりしてPR活動に努めています。が、職員だけでは限界があります。市民の皆さん一人ひとりが、鴻巣市をPRしていただき、イメージアップを図っていただければ幸いと思っています。

